

春に続いて第2回を開催！！  
英語対応ツアーもあり

報道関係各位

2018年9月7日  
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会  
特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会

～建築・地下・環境など大丸有地区の魅力を発見するツアーやイベントを開催～

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 設立30周年記念

# OPEN CITY MARUNOUCHI

丸の内地下の洞道「SUPER TUBE」や丸ビルや東京国際フォーラムの屋上、最新のオフィス  
など普段は『入れない』『見られない』『知られていない』場所を巡る大人の  
社会科見学！

2018年10月5日（金）・6日（土）



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体\*の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）は、設立 30 周年を記念し、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（以下 リガーレ）と共同主催で、大手町・丸の内・有楽町地区（以下 大丸有地区）内の普段は入れない場所や見られない・知られていない場所を巡る「OPEN CITY MARUNOUCHI」を10月5日（金）・6日（土）に開催します。

本イベントは、本年5月18日（金）・19日（土）に第1回を開催いたしました。第2回となる今回は丸の内エリアの地下にあり地域冷暖房の供給を支える洞道「SUPER TUBE」や、自転車を自動で格納する様子が見学可能なサイクルツリーなどを巡る『地下空間探検』や、現在工事中の馬場先通りの地下通路掘削工事を見学出来る『トンネル工事現場探検』、東京駅前のシンボルである丸ビルの屋上に特別に上がる『丸ビル探検』、最先端の働き方が見える総合不動産サービス会社のオフィスを見学でき、英語対応ツアーもご用意した『CBRE オフィス探検』や、一流のラグジュアリー空間を体験する『ザ・ペニンシュラ東京-ホテル探検』の他、屋上の太陽光パネルなどの環境についての取り組みを紹介する『エコ・フレンドリー東京国際フォーラム探検』などを実施します。

大丸有協議会は、都市空間の適切かつ効率的な開発・利活用などを通じたまちづくりを目的に1988年7月に前身となる大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。行政と共に策定したまちづくりガイドラインを基に、サステナブルで安全・安心なまちづくりを展開してまいりました。又、リガーレやエコツェリア(\*)と共に、打ち水や夏祭りなどのイベントを実施するなど賑わいあふれるエリアマネジメント活動に取り組んでまいりました。こうした取り組みをさらに進め、今後も魅力ある「大丸有地区」を目指し活動してまいります。

本イベントは特定のツアーで取材・撮影が可能です。9月下旬に別途ご取材案内状を配信予定です。

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同PR(株) PRアカウント本部4局 担当：前山・高橋  
TEL：03-3571-5238

(\*)「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

## イベント概要

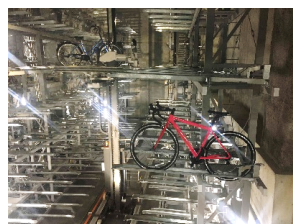
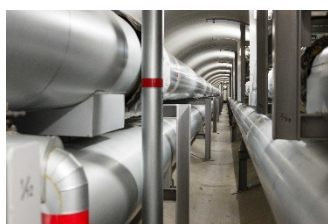
- 【名称】 OPEN CITY MARUNOUCHI
- 【内容】 大丸有地区の普段は『入れない』場所の他、『見られない』『知られていない』場所などを巡るツアーやイベントを実施します。
- 【開催日時】 10月5日(金)・6日(土)
- 【開催場所】 大丸有地区(大手町・丸の内・有楽町エリア)
- 【主催】 OPEN CITY MARUNOUCHI 実行委員会  
(一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会・  
NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会 が参加)
- 【協力】 第一生命保険(株)、大成建設(株)、帝国劇場、(株)東京會館、(株)東京国際フォーラム  
(一社)日本工業倶楽部、日本郵便(株)、丸の内熱供給(株)、三菱地所(株)  
(株)読売新聞東京本社、アスコット丸の内東京、GOOD DESIGN Marunouchi  
ザ・ペニンシュラ東京、シービーアールイー(株)(CBRE)、(公財)彫刻の森芸術文化財団  
日本ホテル(株) 東京ステーションホテル  
三菱地所プロパティマネジメント(株)、(株)三菱地所設計
- 【後援】 (一社)千代田区観光協会(予定)、(認定NPO)日本都市計画家協会、(公社)日本都市計画学会(予定)、千代田区(申請中)
- 【Website】 <http://opencitymarunouchi.jp/>

## コンテンツ概要

### 地下空間探検

地下

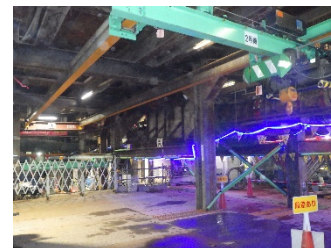
- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 10:30~12:00
- 【内容】 普段は見る事が出来ない大丸有エリアの地下を巡る特別なツアーを実施します。
- 【見学場所】 丸の内熱供給(株)地下プラント、洞道(SUPER TUBE)  
→サイクルツリー(大手町フィナンシャルシティ グランキューブ地下駐輪場)
- 【定員】 20名
- 【参加費】 500円  
※高校生未満のお子様に参加される場合、保護者の付き添いを必須とさせていただきます。



### トンネル工事現場探検

地下

- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 10:30~11:30
- 【内容】 交通量の多い馬場先通りの地下空間では、現在歩行者用地下通路の掘削工事が実施されています。今回特別に地下通路が出来る過程をご覧いただけます。
- 【見学場所】 馬場先通り地下接続工事現場
- 【定員】 15名
- 【参加費】 500円
- 【対象年齢】 小学校高学年以上



- ※本ツアーは工事現場に入る前に用意された作業着並びに安全靴を着用頂きます。又、ヘルメット着用の必要があります。
- ※工事現場の気温・湿度が高いため、健康状態に不安のある方のご参加はご遠慮いただいております。
- ※工事現場での一般参加者の写真撮影は禁止となっておりますので予めご了承ください。
- ※工事現場へは急な階段を昇り降りしますので予めご了承ください。
- ※高校生未満のお子様に参加される場合、保護者の付き添いを必須とさせていただきます。

## エコ・フレンドリー東京国際フォーラム探検

環境

- 【開催日時】 10月5日(金) 10:00~10:45/14:00~14:45  
【内 容】 屋上に設置された太陽光発電システムやガラス棟の緑化設備や秘密の環境コントロール手法など東京国際フォーラムのエコに関する取り組みをご紹介します。  
【見学場所】 東京国際フォーラム屋上施設、ガラス棟等  
※雨天、強風時は地下2階ごみ処理施設をご案内します。  
【定 員】 12名  
【参加費】 500円  
【対象年齢】 小学校高学年以上



## 日本一高い『東京駅前常盤橋プロジェクト』を知ろう

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) 16:30~17:15/17:30~18:15  
【内 容】 1950年~60年の高度経済成長期に建設されたビルが存する東京駅北側の街区で現在、東京駅前常盤橋プロジェクトと呼ばれる大規模再開発が進行中。2027年には「日本一高いビル」となるB棟が竣工予定です。この地は長い歴史を持った場所。過去から今に至る歴史やプロジェクトの全貌を見てみましょう。  
【見学場所】 東京駅前常盤橋プロジェクト・ビジョンスタジオ/日本ビル4階(工事現場を眺める)  
【定 員】 20名  
【参加費】 無料

## 丸ビル探検

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 13:30~15:00  
【内 容】 丸の内を代表するビルの一つ、丸の内ビルディングの裏側に潜入。丸ビルの歴史、地下深い場所、今回のみ特別に屋上に出てその景色が堪能出来ます。  
【見学場所】 屋上、地下防災井戸設備、丸の内観音他  
【定 員】 15名  
【参加費】 500円

## 第一生命ロビー・第一生命ギャラリー公開

芸術

- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 8:00~20:00  
※ギャラリーは10月5日(金) 12:00~17:00のみ  
【内 容】 現代美術の展覧会「VOCA(ヴォーカ)展(The Vision of Contemporary Art)-現代美術の展望」のVOCA賞・VOCA奨励賞受賞作品を所蔵し、イベント期間中は「脇田和 x VOCA展」を開催中。  
【見学場所】 第一生命保険 日比谷本社1階  
【参加費】 無料

## 東京ステーションホテル歴史探訪ツアー

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 13:30~15:00  
【内 容】 開業1915年。重要文化財に指定され、東京駅と共に歴史を刻んできた東京ステーションホテルについて、その歴史を建物のストーリーと内部に残された思い出と共に巡ります。  
【見学場所】 東京駅丸の内駅舎など。  
【定 員】 15名  
【参加費】 無料

※小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の付き添いを必須とさせていただきます。

## 近代建築ツアー

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) 10:00~11:30/13:00~14:30  
【内 容】 建築の専門家三菱地所設計の社員が歴史的な建物と新築の高層棟が融合したビルなど近代建築について解説しながら、まちをめぐります。  
【見学場所】 日本工業倶楽部会館、東京中央郵便局、明治生命館、三菱一号館美術館等  
【定 員】 20名  
【参加費】 500円



## 昭和モダン建築ツアー

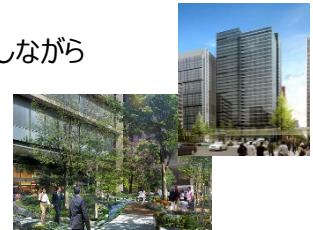
建築

- 【開催日時】 10月6日(土) 10:00~11:30/13:00~14:30  
【内 容】 建築の専門家三菱地所設計の社員が大丸有エリア内の昭和のモダニズムをふんだんに有した建物の魅力について解説しながら、まちをめぐります。  
【見学場所】 新東京ビル、国際ビル、新国際ビル、有楽町ビル、新有楽町ビル  
【定 員】 20名  
【参加費】 500円

## 最新のオフィスビルツアー

建築

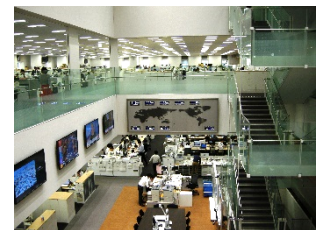
- 【開催日時】 10月5日(金) 10:00~11:30/13:00~14:30  
【内 容】 建築の専門家三菱地所設計の社員が最新の再開発ビルを解説しながらまちをめぐります。  
【見学場所】 大手町パークビル、大手町ファイナンシャルシティグランキューブホトリア街区等  
【定 員】 20名  
【参加費】 500円



## 読売新聞探検

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) /10月6日(土) 15:00~16:00  
【内 容】 読売新聞の“心臓部”である編集局フロアを特別に公開するなど、読売新聞ビルの見どころを案内します。  
【見学場所】 よみうりギャラリー、編集局、レセプションルーム  
【定 員】 20名  
【参加費】 500円



## JPタワー探検

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) /10月6日(土) 14:30~16:00  
【内 容】 3月21日に開業5周年を迎えたJPタワー低層部の商業施設「KITTE」の旧東京中央郵便局長室(4階)や東京駅丸の内駅舎と行き交う電車を間近に眺めることができる屋上庭園「KITTEガーデン」(6階)をご覧ください。今回のみ特別にタワー屋上に出てその景色が堪能出来ます。  
【見学場所】 屋上、旧東京中央郵便局長室、地下4階巨大空間、6階「KITTEガーデン」等  
【定 員】 15名  
【参加費】 500円



## CBRE オフィス探検

英語対応

オフィス

- 【開催日時】 10月5日(金) 9:45~11:00  
【内 容】 法人向け総合不動産サービス会社である CBRE のオフィスについてご案内します。次世代の職場体験や先進的なデザインなど最新の働き方改革が体感できる内容となり、英語対応も可能なツアーとなります。ツアー終了後はカフェにておくつろぎください。  
【見学場所】 CBRE オフィス内・RISE カフェ  
【定 員】 30名  
【参加費】 500円

## 三菱地所オフィス探検

オフィス

- 【開催日時】 10月5日(金) 15:30~16:30/16:30~17:30  
【内 容】 第31回日経ニューオフィス賞<経済産業大臣賞>に輝いた三菱地所の新しい本社【MEC PARK】についてご案内するツアーです。  
【見学場所】 三菱地所オフィス内  
【定 員】 15名  
【参加費】 500円



## ザ・ペニンシュラ東京 - ホテル探検

英語対応

ホテル

- 【開催日時】 10月5日(金) 11:00~12:00/14:00~15:00  
【内 容】 米『トラベル+レジャー』誌の「東京のベストホテル」を2年連続で受賞している一流ホテルのラグジュアリーな空間とスタッフのホスピタリティを体感できるツアーです。  
※英語対応も可能なツアーとなります。  
【見学場所】 ホテル客室、レストラン、宴会場など  
【定 員】 10名  
【参加費】 無料

## アスコット丸の内東京-サービスレジデンス探検

英語対応

ホテル

- 【開催日時】 10月5日(金) / 10月6日(土) 14:00~14:40  
【内 容】 シンガポール発の最高級サービスレジデンスであるアスコット丸の内東京の客室およびレストランについて見学。普通のホテルとはちょっと違うサービスレジデンスを探検できるツアーです！  
※英語対応も可能なツアーとなります。  
【見学場所】 ホテル客室、レストランや屋外など  
【定 員】 20名  
【参加費】 無料

## 有楽町に残る昭和のビルと、駅前広場・行幸通りの公的空間整備 街歩き解説ツアー

建築

- 【開催日時】 10月5日(金) 11:00~12:30  
【内 容】 有楽町地区に残る昭和30~40年代のビルを中心に大丸有地区の中心である東京駅前広場と行幸通りなどその歴史を紐解きながら解説するガイドツアーです。  
【見学場所】 有楽町の建築(有楽町ビル、新有楽町ビル、国際ビル、東京ビル)  
→アーバンデザイン(行幸通り、東京駅前広場)  
【定 員】 10名  
【参加費】 500円

## 大丸有ウォーク・ツアー

英語対応

散策

- 【開催日時】 10月5日（金）／10月6日（土） 10:30～11:30／12:00～13:00  
【内 容】 日本有数のオフィス街の大手町・丸の内・有楽町をこの街をよく知るガイドと巡ります。  
※英語対応も可能なツアーとなります。  
【見学場所】 ■皇居側コース：行幸通り、和田倉噴水公園、郵船ビル、内堀通り、明治安田生命ビル、丸の内仲通り、三菱一号館  
■東京駅側コース：東京中央郵便局・KITTE、東京駅丸の内駅舎南ドーム、丸の内 oazo、新丸ビル、行幸通り、丸の内仲通り、丸ビル  
【定 員】 各コース 30 名  
【参加費】 500 円

## グッドデザインでめぐる丸の内の 30 年とこれから

散策

- 【開催日時】 10月6日（土） 14:00～15:30  
【内 容】 大丸有には、遡れば江戸時代から様々な変遷をたどり、続く歴史があります。最後の年を迎えた平成も、大丸有が変貌を遂げた時代と言えるでしょう。丸の内・有楽町エリアのこの 30 年の様々なデザインをめぐりながら、街のグッドデザインを発見し、来たる新しい時代の丸の内を想像するツアーです。  
【見学場所】 丸の内仲通り、丸ビル、明治安田生命ビル、東京駅、東京駅丸の内駅前広場など  
【定 員】 15 名  
【参加費】 無料  
※小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の付き添いを必須とさせていただきます。

## 東京 2020 公認プログラムフォトログ体験 in OPEN CITY MARUNOUCHI

散策

- 【開催日時】 10月6日（土） 11:00～16:00（10:30 受付開始）  
※17:30 最終ゴールとなります。  
【開催場所】 大丸有地区（大手町・丸の内・有楽町エリア）  
【内 容】 大丸有地区のエリア内にて、フォトゲイニング（時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ）を体験します。三菱一号館美術館や東京国際フォーラムなど様々な場所を回ります。  
【主 催】 読売新聞東京本社  
【共 催】 OPEN CITY MARUNOUCHI 実行委員会

※ツアー内容については変更になる可能性があります。 ※画像はすべてイメージです ※金額はすべて税込みです。

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・東京都庁記者クラブへお届けしています。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局

共同ピーアール(株) PR アカウント本部 4 局 担当：前山・高橋

TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380

E-mail：[tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp)

## 【参考】一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町 地区まちづくり協議会 設立 30 周年について

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）は、1988 年 7 月に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。都市空間の適切かつ効率的な開発・利活用などを通じた街づくりを目的に、策定したまちづくりガイドラインを基に、これまで都市空間のインフラ整備や維持管理、サステナブルで安心安全で災害に強いまちづくりを実施する他、様々なイベントを実施し、公民協調による街づくりを実施してまいりました。



1995 年の大丸有地区



2016 年の大丸有地区



丸の内仲通りの比較（整備前・整備後）

### ★大丸有地区の数字

建築棟数	約 100 棟
事業所数	約 4,300 事業所
就業人口	約 28 万人

## ◆当地区の歴史と30年の歩み

江戸時代、江戸城を中心とした諸大名・旗本のための武家地だった当地区は、明治維新後に「東京市区改正設計」により経済地区として整備され 1890 年には陸軍省用地となっていた土地が民間に払い下げられ日本初のオフィス街の整備がスタート。当時のビル街はその西欧風のたたずまいから「一丁倫敦（ロンドン）」と呼ばれました。1914 年には東京駅が完成し、それ以降大型オフィスビルによる街並みは「一丁紐育（ニューヨーク）」と呼ばれました。

### ～協議会の発足～

1970～80 年代、企業のグローバル化が進展し国内外の企業の東京進出が活発化したことで、オフィス不足や老朽化、就業環境の改善などが課題となり、地権者間で一体的な再開発の機運が高まりました。東京駅周辺再開発誘導地区指定（1986 年）、千代田区まちづくり方針（1987 年）の政策を踏まえ、1988 年 7 月 20 日に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として大丸有協議会は発足しました。

### ～にぎわいの創出へ～

その後、地権者間の検討を経て 1994 年に再開発の指針となる 7 つの街づくりの理念「大手町・丸の内・有楽町地区街づくり基本協定」を締結し、1996 年には、行政等と共に大丸有地区の将来像を議論・検討する大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が発足。2002 年には街づくりのハードとともに街の交流機能の強化、都市観光としての魅力づくりなどのソフト面を含めたまちづくり（エリアマネジメント）の重要性が高まり、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）が設立されました。これまで大丸有協議会と協調してさまざまなイベントやツアーガイド、コミュニティバスの運行支援など交流機会の創出活動を実施してまいりました。

2013 年には、ユニークベニューを活用したトライアルイベントを三菱一号館美術館にて開催、2014 年から道路上でオープンカフェ等を催した「公的空間活用モデル事業」を実施。外部団体の積極的な活用を呼び掛けるための「道路空間活用のご案内」の作成や、国際会議の誘致を目的に地区の MICE 関係団体が連携する DMO 東京丸の内からの情報発信など、都心型 MICE 等に対応した都市環境整備を進めています。

